



学校だより



墨田区立第三吾孺小学校

校長 川中子登志雄

令和6年10月1日

10月号

大丈夫！ 次、がんばれ！

副校長 白石 哲也

第三吾孺小学校の先生たちは、この9月から、子供たちが主体となる「学習時間」の実践を進めています。そんな中、私も若手教員のOJTの一貫で3年生の体育館での体育の時間の学習時間を担当することになりました。

3年生の体育「マット運動」「前ころがり⇒前転」をテーマに9月第1週から3回

2回目の体育の学習時間の中の一コマの様子をお伝えします。

「できているか、できていないか見て、アドバイスしてあげて。」

「え、いいの。」

「できていないところを言ったらいけないんじゃないの。」

「友だち通して高めていくときには、次はもっと勢いをつけてみてなどと言ってあげてほしいな。」

「言っていないだ。」

「いいよ。膝が開いているのを見るんだったら、どこに行ったら見える？」

「こっち〜。」

「では、互いに見合って、上手になってください。」

「は〜い。」

友だちに注意することに抵抗を感じているようで、悪口になるのでは？と恐れていることがわかります。しかし、こんなやり取りの後

は、正しい前転ができるようになるために、子供たちは、声をかけ合いながら夢中に取り組んでいました。授業後のワークシートには

「できるようになってうれしかったです。」と、できた達成感を感じるコメントがたくさんの中、

「できるようになるまで、あきらめないでやる。」

「人の話を聞いてやることは大切だと思った。」

「〜ができるように、がんばります。」

「お助けをしたい。」

とコメントを書く子もいました。何とも前向きで、がんばろうという気持ちが伝わってくるコメントがたくさんあり、子供たちが協力しながら、めあて達成のために夢中になって学習に取り組んでいる姿だと感じた瞬間でした。改めて大事にしたいと思ったことは、子供たちが互いに高め合う姿です。友だちの失敗を応援し、励まし、アドバイスするそんな姿です。

学校は、学習の場です。子供たちには、たくさんの失敗を繰り返しながら、自分が正しいと思う未来へ向かっていくところだと思います。失敗したときに「大丈夫、次、がんばれ」とみんなが応援できる学校であれば、できないこと、うまくいかないことがあっても、自信をもって今の自分をさらけだせる安心感がある場になります。

そこで、「友だちの失敗を応援できる学校」にしたいと思い、「友だちの失敗を応援できる学校」とネットで検索をしたら、



- ・子どもが友だちをけがさせた!? やってよかった対応・お詫び・・・
- ・悪意なく人の失敗を笑う子への対応
- ・「友だちとのトラブルが絶えない子」から読みとれるサイン

など、全くこちらの意図とは関係ない言葉が出てきました。とても驚きました。世の中は、失敗＝謝罪を求める傾向であるのだということを強く感じました。

ケースバイケースで、もちろん、謝罪が必要なきはありますが、第三吾孺小学校の教室内でがんばろうとしているときの失敗については、励まし合い、共に高め合えるようにしていきたいと思います。現に、それができる子供たちはたくさんいるので、どんどん増やして行って、互いに高め合うことができる温かい雰囲気でもまれる学校にしていきたいです。保護者の皆様も、子どもが失敗をしたときに、成功への道しるべを示す時にも必要ですが、共にどうすればよいのか考え、結論を出していくことを繰り返して行ってほしいと思います。学校だけでなく、保護者の皆様、地域の方々と共に一緒に考え、育てていきたいです。今後とも、ご理解・ご協力をお願いいたします。

イヤホンについて

本校では、学びの個別最適化を図るため、家庭からイヤホンを学校に持参することを推奨しています。そのことについて3点注意事項があります。

- イヤホンはタッチペンと同様の扱いです。学校は、破損や紛失について責任を負いません。収納場所は家庭で確認してから持たせてください。
- 教員や支援員からの着脱の指示が守れない場合には、教員が預かり保護者に返却させていただきます。
- 持参は強制ではありません。改めて購入をお願いするものではありません。以上のことをお子様と確認していただき、持参が可能なご家庭は持たせてください。

通知表・キャリアパスポートの回収について

10月11日(金)終業式にお渡しする前期の通知表とキャリアパスポートは、後期になりましたら、ファイルごとお子様に持たせてください。18日(金)までにお願いいたします。

また、キャリアパスポートは、お子様が持ち帰りましたら裏面に励ましの言葉を記入いただき、持たせてください。教室で保管します。

6年生 社会科見学～キッザニア東京～

9月27日(金)に社会科見学に行ってきました。今年社会科見学では、キャリア教育も兼ねてキッザニア東京に行きました。キッザニア東京は、施設内にたくさんのパビリオンと呼ばれる体験施設があり、約100種類の職業・社会体験をすることができる施設です。

事前学習として、働くことの意味や価値、身近な人の職業インタビューを行い、将来の自分の姿をイメージして見学に行きました。施設内はすべてが子ども中心となっており、見学内容を教員が決めるのではなく、児童自身が興味をもって主体的に見学内容を決定しました。児童の感想では、「体験してみても職業に興味を持った。」「自分が想像していたよりも世の中には多くの職業があることに気付いた。」など、児童が様々な職業を体験し、職業選択の幅を広げることができました。

翌日28日(土)2校時には、キャリア教育特別授業で九つの職業について保護者や地域の方にご紹介いただきました。今後は、自分の将来を見つめ、社会に出ていく姿をイメージしながら生活してほしいと思います。

